



AOMORI ARTS COUNCIL

あお
もり **アーツカウンシル**
ACTIVITY REPORT

2017～2019

事業報告書

目次

事業概要

平成 29 年度 あおもりアーツカウンスル 文化芸術創造活動助成事業	P01
A-Paradise2017	P02
“創造の場づくり” 支援事業：劇団青森どまんなか やっこい組「なれそめ劇場」	P03
平成 30 年度 あおもりアーツカウンスル 文化芸術創造活動助成事業	P04
A-Paradise2018	P05
“創造の場づくり” 支援事業 A：八甲田丸サウンド / アートフェスティバル	P06
“創造の場づくり” 支援事業 B：木戸永二 絵画作品展&ライブドローイング	P07
冬の A-Paradise～駅前で版画・漫画でお茶しない？～	P08
2019 年度 あおもりアーツカウンスル 文化芸術創造活動助成事業	P09
“創造の場づくり” 支援事業：青函交流アート事業 展覧会「青い糸」	P10
A-Paradise2019	P11
冬の A-Paradise～青森。雪と君と版画喫茶@アウガ～	P12
あおもりアーツカウンスルとは／実行委員紹介	P13

あおもりアーツカウンスル

活動年表

2017-2019

2017（平成 29）年度

「あおもりアーツカウンスル」に改名
あおもりアーツカウンスル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/25 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2017」（11/18 開催）
“創造の場づくり” 支援事業：劇団青森どまんなか やっこい組「なれそめ劇場」（2/1～28 開催）
あおもりアーツカウンスル会議開催（毎月 1 回）

2018（平成 30）年度

あおもりアーツカウンスル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/17 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2018」（9/2 開催）
“創造の場づくり” 支援事業 A：八甲田丸サウンド / アートフェスティバル（2/10 開催）
“創造の場づくり” 支援事業 B：木戸永二 絵画作品展&ライブドローイング（2/9～11 開催）
A-Paradise 事業「冬の A-Paradise～駅前で版画・漫画でお茶しない？～」（2/9～11 開催）
あおもりアーツカウンスル会議開催（毎月 1 回）／ A-Paradise ミーティング（年間 13 回）

2019（平成 31・令和 1）年度

あおもりアーツカウンスル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/16 開催）
“創造の場づくり” 支援事業：青函交流アート事業 展覧会「青い糸」（8/21～25 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2019」（9/8 開催）
A-Paradise 事業「冬の A-Paradise～青森。雪と君と版画喫茶@アウガ」（2/8～11 開催）
あおもりアーツカウンスル会議開催（年間 10 回）／ A-Paradise ミーティング（年間 13 回）

平成 29 年度

文化芸術創造活動助成事業

目的

青森の文化的資源の独自性と、文化芸術の持つ創造力を最大限に発揮する先駆的な事業を、支え育てる。

効果

学生の企画運営による挑戦や、青森の魅力を再発見する展覧会、地元音楽家や中学生の多ジャンル公演、革新的な新体操公演への助成で文化芸術の活性化に寄与した。



公開選考会（6/25 開催）
 申請件数：13 件 助成件数：4 件
 助成総額：1,250,000 円
 選定委員
 奥脇嵩大（青森県立美術館学芸員）／沼田祐寛
 （株式会社丸石沼田商店代表取締役社長）／横山
 克弘（青森市教育委員会事務局教育部長）／嶋中
 克之（おおもりアーツカウンシル会長）／立木祥
 一郎（同委員）／中村昇（同委員）／張間陽子
 （同委員）／三澤章（同監事）

ポムジュール吹奏楽団

「市内大学生による吹奏楽演奏会」

【事業の目的・内容】

入場無料で地域住民が気軽に足を運べる県民福祉プラザでの演奏や、お客さん参加型の演出により、大学生と地域住民の活発な交流と、芸術・文化に貢献する目的、さらに「聴いて楽しい・観て楽しい演奏会」を目指し、前例に囚われず自由な発想を出し合い新しい形の演奏会を作り、大学間での吹奏楽の活発化を目的とする。

申請金額／ 50 万円 助成金額／ 50 万円



青い森マーチング委員会

「青い森マーチング委員会 × 東高校美術部 青森イラスト作品展」

【事業の目的・内容】

青森市の「大好きな場所」「心に残る思い出の風景」「紹介したい景色」の写真を募集。選ばれた写真を、青森の未来を担う青少年の若い感性で、青森の魅力を再発見しながら描いてもらう（第 1 回は青森東高校美術部）。学生、青少年のイラスト作品と共に、当委員会が数年にわたり書き溜めてきた街並み百景イラスト作品をあわせて展示。会場では、写真の応募者から、写真に対するメッセージ、青森への想いも紹介する。また、参加型ワークショップ等を行なう。

申請金額／ 50 万円 助成金額／ 50 万円



特定非営利活動法人ういむい未来の里 CSO

「森のいのちを【詩と音楽と造形と書】で 紡ぐ事業」

【事業の目的・内容】

縄文古代から今日的な未来へ、青森という「森」が、いのちの豊穡をメッセージしていくことを祈念して、子どもたちが描く森を謳う詩に、曲をつけて歌い、詩のイメージを彫刻し、詩の一節を杉板に墨で描く板碑を創り、これらを、いのちを



紡ぐアートとして森の中で展開・フュージョンさせ、継続させていくことを目的とする。

申請金額／ 48 万円
 助成金額／ 25 万円

一般社団法人 BLUE ties Impression

「ぶるー nebuta 2017」

【事業の目的・内容】

ねぶた祭の時期に観光客をターゲットにした公演を開催。青森市観光大使 BLUE TOKYO が主演を務め、演出に青森県の四季や伝統文化の映像を取り入れる事で、「また来たい青森」を生み出す。

申請金額／ 50 万円
 助成内定金額／ 25 万円



平成 29 年度 A-Paradise 事業

A-Paradise2017

目的

市内のクリエイター・アーティストが中心となり、アート・音楽で中心商店街を活性化させる。

効果

昭和通り振興会のご協力により、街中での若年層の文化芸術活動を支援するとともに、アート・音楽で商店街を活性化させることができた。

平成 29 年 11 月 18 日（土）12:30 ～

会場：BLACK BOX

参加料：無料

来場者数：500 名



【ステージ タイムテーブル】

12:30 ～ オープニング

12:50 ～ A-Para バンド

13:00 ～ エイチチロウバンド

13:25 ～ SOY Sauce Rice Crackers

14:00 ～ 津軽カタリスト青森支部

14:45 ～ Broken Cadies

15:20 ～ Shelves

15:55 ～ Woman wonderful

16:30 ～ ユミチャラティ & マツキリョウタ

17:00 ～ CRLASH DUMMY

17:30 ～ シベリアンハスキーズ

18:05 ～ 新谷隼平

18:40 ～ advisory booth

19:15 ～ 演劇ユニット「終身雇用」

19:25 ～ ただそこにいる

20:00 ～ エンディング



REPORT

「あおりとわたし」をテーマに参加者を公募し BLACK BOX にてイベントを行なった。参加者の公募は「青森市とわたしたち」をテーマにした 400 字程度の文章の提出を条件とし、イベントに対して共感してくれる参加者のみに限定した。「BLACK BOX=おもちゃ箱」としたメインビジュアルに合わせ、舞台装置や広報物も効果的にデザインし制作。イベント認知度向上のため、グッズ制作にも取り組んだ。

ランウェイのあるステージでは 14 組のバンド等が演奏・公演し、同時にライブペインティングや“ねぶた絵”展示が行なわれた。展示ブースではアート・クラフト作品が並んだ。MC は元 FM 青森アナウンサー横山琢巳氏。

平成 29 年度 “創造の場づくり” 支援事業

劇団青森どまんなか やっこい組 「なれそめ劇場」

目的

既存施設を文化芸術の力でリノベーションし、新たな社会的価値で活性化する。



効果

公募で選ばれた劇団のプロデュースで、市内 4 ヶ所にて 1 ヶ月に渡り展覧会・ライブ・企画等を開催し、冬の中心商店街に新たな文化芸術の人の流れを創出した。

開催日時…平成 30 年 2 月 1 日（木）～ 28 日（水）

開催会場…中心商店街の空き店舗・ビル空きテナント・ライブハウス・イベントホール＝全 4 か所

会場① Our place komohe (古川) : 2/1 (木) ～ 28 (水)
ミニ企画およびオープンスペース会場
来場者数 : 150 名



会場② オフィスビル木村 (古川) : 2/1 (木) ～ 28 (水)
松木俊輔写真展・三原有船書道展
来場者数 : 171 名



会場③ 青森 Quarter (安方) : 2/3 (土)
オープニングライブ「青森にうたう。節分の夜」
来場者数 : 250 名



会場④ BLACK BOX (古川) : 2/24 (土)
クロージングライブ ダンス&DJ
「青森におどる。なれそめの夜」
来場者数 : 40 名



●2/1(木) : オフィスビル木村の空きテナントにて
「松木俊輔写真展・三原有船書道展」スタート (2/28 まで)
●2/1 (木)・2 (金)・4 (日)・7 (水)・11 (日)・13 (火)・16 (金)・19 (月)
Our place komohe [夜] ポエトリー・リーディング、絵本読み聞かせ

●2/3 (土) 19:00 ～ 21:30
オープニングライブ「青森にうたう。節分の夜」
出演 : ホイドーズ、佐々木英明、他 / 司会 : 張間陽子



●2/4 (日)・11 (日)・18 (日)・25 (日)
Our place komohe [昼] 絵本よみきかせ (出演 : ブルーカレント)

●2/8 (木)・14 (水) : 夜のお茶会 ●2/11 (日) : 早朝お茶会

●2/9 (金) Our place komohe
【19:00 ～ 古川壬生ポエトリー・リーディング】
【20:00 ～ トークライブ「雪女」 / 平井正樹 朗読】



●2/10 (土) 20:00 ～ Our place komohe
【コスモス千葉ポエトリーリーディング with きゃべ】



●2/11 (日) オフィスビル木村 [昼]
わらべうた遊びと絵本よみきかせ
(出演 : 子育て支援グループ「モモ」)



●2/12 (月)
Our place komohe [夜のミニ公演]
高橋康子ポエトリー・リーディング

●2/15 (木)・20 (火)
Our place komohe [夜のミニ公演] 平井正樹 朗読会



●2/17 (土) : Our place komohe [夜の公演]
【19:00 ～ 佐々木英明ポエトリー・リーディング】
【20:00 ～ トークライブ「最期に残った津軽弁」】



●2/19 (月)・22 (木)・23 (金) : Our place komohe [夜] 劇団公開稽古
●2/24 (土)
19:00 ～ 21:30 クロージングライブ「青森におどる。なれそめの夜」
出演 : 劇団青森どまんなか、DJ Hiro、市内ダンサー、他
●2/25 (日) Our place komohe [夜] 「人狼ゲーム」体験会



●2/27 (火)
Our place komohe [夜のミニ公演]
井上用水路 mini ライブ



●2/28 (水)
Our place komohe [夜のミニ公演]
スミヨシタケシ mini ライブ



平成30年度

文化芸術創造活動助成事業

目的

青森の文化的資源の独自性と、文化芸術の持つ創造力を最大限に発揮する先駆的な事業を支え育てる。

効果

演劇祭立ち上げ、大学生によるファッションショーやミュージカル、地元で音楽活動が続けるビッグバンド公演など、幅広いジャンルによる街の活性化に寄与した。



公開選考会（6/17 開催）
 申請件数：12 件 助成件数：4 件
 助成総額：1,460,000 円
 選定委員
 若井暁（マルハニチロ俊武多会 囃子方「海鳴」顧問）／奥崎和彦（あおもりアーツカウンシル委員）／中村昇（同委員）／三澤章（同監事）

アオモリ演劇祭実行委員会

「第1回アオモリ演劇祭2018」

【事業の目的・内容】

演劇には「何かを感じさせてくれたり、人生を考えさせてくれたりすることで社会に目を向けさせてくれる力」「人と人をつなぐコミュニケーションとしての力」があります。そのため、他の地域での演劇祭は、街づくりのひとつとして実施されています。青森市は、他の地域に比べても演劇が盛んな地域と言われてきました。近年、青森市の演劇状況は全国的に活躍している劇団や歴史ある劇団をはじめ、30～40代の中堅、20代の若手演劇団体が盛んに創作上演をして盛り上がりを見せています。この勢いを伸ばしていくためにも、青森市内で活動している演劇団体、舞台人（ミュージシャンも参加）が、それぞれの枠を超えて協力し、アオモリ演劇祭を通じて演劇を作ること、演劇を観ることの魅力を広げ、演劇での社会的貢献をすることで、私たちの住む青森市をもっともっと文化的な街にしたいと思っています。

申請金額／50 万円 助成金額／50 万円



青森中央文化専門学校 Fashion Live 実行委員会

「Bunka Fashion Live 2018」

【事業の目的・内容】

オリジナルデザインの制作衣装をファッションショー形式で発表。また、様々な団体等とも連携し、青森のファッションシーンを総合的に展開。未来への可能性を感じられるステージを創り上げ、文化芸術創造都市の構築に貢献する。

申請金額／50 万円
 助成金額／33.3 万円



青森県ビッグバンド協議会青森支部

「Jazz Market in AOMORI」

【事業の目的・内容】

青森県内のビッグバンドを青森市に集結して演奏会を行うことにより、JAZZ 演奏活動の活性化、若手の育成・発掘及び活動団体相互の交流促進を図るとともに、文化活動により地域発展に貢献する。

申請金額／41.2 万円
 助成金額／29.4 万円



青森中央短期大学幼児保育学科ミュージカル実行委員会

「青森中央短期大学保育学科ミュージカル『七羽のカラス』」

【事業の目的・内容】

青森中央短期大学幼児保育学科2年生全員（74名）が企画・制作する独創的なミュージカル公演を実施することで、子どもから大人までの幅広い世代の方にミュージカルの楽しさを伝え、作品を通して若い世代（＝学生から）のメッセージを発信することを目的とする。また、学生は演じることで創造性、発進力、将来の保育士としての総合的な表現力を深めていく。

申請金額／50 万円
 助成金額／33.3 万円



平成 30 年度 A-Paradise 事業

A-Paradise2018

目的

市内のクリエイター・アーティストが中心となり、ベイエリアから商店街を、アート・音楽で活性化させる。

効果

柳町商店街との連携により、地域の活性化を実現した。
また、事前ワークショップ開催により、各方面の幅広い世代の参加・来場があり、文化芸術の普及となった。

平成 30 年 9 月 2 日 (日) 10:00 ~ 20:00

会場：柳町通り歩道

観覧料：無料

来場者数：1,051 名



【メインステージ タイムテーブル】

10:15 ~ スピリタス

11:15 ~ Out Of Order

12:05 ~ JET MOUSE

13:00 ~ A-Para バンド

13:35 ~ Broken Cadies

14:35 ~ ANTI \$OCIAL FORCE\$

15:25 ~ Beaming Chaplin

16:15 ~ The Marshall

17:05 ~ クドウ

17:55 ~ weak

18:40 ~ 大川平荒馬保存会

19:00 ~ クロージングパフォーマンス
(福士正一・Kikoenaifuriwoshita)



【サブステージ タイムテーブル】

10:45 ~ エイイチロウ

11:45 ~ ヨコヤマサチコ

12:25 ~ 仲島圭祐

13:15 ~ 確原色

14:05 ~ まえだっち

15:05 ~ ユミチャラティ

15:35 ~ DJ yassi

16:45 ~ DJ \$hun

17:35 ~ DJ 凸凹堂



【ワークショップ】

星形絵馬ワークショップ
落書きコーナー

【ライブペインティング】

算用子綺香・水谷



【クラフト】 青森サブカル倶楽部

【フード・ドリンク】

Be on space222 / cafe oink



REPORT

柳町商店街のジャズ公演の次の日に、ステージを使わせてもらえることになり、「当日までの準備をワークショップで行なおう」と、春から準備が始まった。当日は事前ワークショップの集合体として、柳町 AtoZ フリーペーパーが配られ、みんなの星形ねぶたが街を飾り、学生らが制作した衣装を身につけて、この日のために練習を重ねた舞踏パフォーマンスが行なわれた。ステージは、バンド中心のメイン、弾き語り・DJ 中心のサブの 2 つ。交互に演奏することで舞台転換を効率的に行なった。当日参加の星形絵馬や、落書きコーナーは親子らでにぎわいを見せた。10 時間の長丁場、朝のお散歩から夜の宴会帰りの人、また外国の方々も楽しんでた。

【事前ワークショップ】

舞踏衣装作成 8/8

フリーペーパー作成 8/9・10



舞踏 (Butoh) 8/12~9/1 全 5 回

星形ねぶた制作 8/18・19



平成30年度“創造の場づくり”支援事業 A

Hakkoda-maru Sound/Art Festival 八甲田丸サウンド/アートフェスティバル

目的

多様な地域の文化資源に新たな光をあてるとともに、質の高い、独自の文化芸術の創造を推進する。



効果

世界的に活躍するサウンドアーティストのキュレーション公演を、市の文化遺産である八甲田丸で行なうことで、地域の文化芸術水準に多大な刺激を与えた。



アーティスト：古舘 健

1981年神奈川県生まれ、京都在住。コンピュータープログラミング、メカトロニクスなどを用いて、ライブパフォーマンスなどを行なう。2002年よりサウンドアートプロジェクト The SINE WAVE ORCHESTRA を主宰、第二回横浜トリエンナーレ（2005）をはじめ、国内外、様々な展覧会にて作品を発表。高谷史郎、坂本龍一、Dumb Type を始め、様々な作家の制作に参加。



日時：平成31年2月10日（日）18:00～21:30

会場：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 車両甲板

出演者：空間現代、YPY、ASUNA、Ken FURUDATE

入場料：2,000円（前売）／2,500円（当日）

来場者数：140名



REPORT

2月10日、厳冬の中、次々と出演者が来青。オープンの18時、入場受付を終えた来場者が、続々と車両甲板を目指して降りていく。むきだしの造作が残ったままの会場内には、古舘氏によるライティングが施され、詰めかけた人の中にいて、ここがどこかわからなくなるような錯覚に陥る。

明確なタイムテーブルが表示されないまま、18:30にはオープニングアクト ASUNA によるパフォーマンス。オモチャ楽器と電子音楽によるパフォーマンスを行なう姿はどこか哀しさと思議さを漂わせ、見る者に拍手喝采を呼び起こした。続く、YPYのプレイでは打って変わって激しい電子音楽を浴びて踊りまくる人が続出。空間現代の、音やリズムが自由に飛び回るバンドサウンドにみな圧倒され、八甲田丸車両甲板のボルテージも寒さもピークに！急に会場内が青の世界となり、Ken FURUDATEの演奏がスタート。光と音の魔法にかかったように、そこに居る誰もが海の底に居るような、朦朧となるような感覚を覚えた。フード&ドリンク出店は第二齊藤商店、運営は青森市内外のボランティアが中心となり行なった。



ASUNA



YPY



空間現代



平成30年度“創造の場づくり”支援事業B

木戸永二 絵画作品展 & ライブ・ドローイング

目的

既存の公共施設を利用し、青森で創作活動を行なう市民に開放することで、文化芸術発信の機会を創造する。

効果

コンサートホールに併設されたギャラリースペースでの市民アーティストによる展覧会開催と創作活動の公開により、様々な目的の来館者に鑑賞の機会を作った。

アーティスト：木戸 永二

- 1983 青森県青森市生まれ
- 2005 北海道教育大学教育学部函館校美術文化課程美術コース卒業
- 2008 千葉大学大学院教育学研究科美術教育専修 修了
- 2014 青森市の星短期大学子ども福祉未来学科保育専攻講師として勤務
- 現在 青森市にて制作活動を行う
- [個展]
- 2012 青森県立美術館コミュニティギャラリー／青森
- 2013 ギャラリー三日月／北海道
- 2014 「N.Eblood21 Vol.52 Kido Eiji」
／リアスアーク美術館／宮城
- 2016 青森市 夜店通り空き店舗／青森
- 2017 COFFEE MAN good／青森
- ☆その他、グループ展など出展多数



REPORT

アーティスト木戸永二は、青森市を拠点に創作活動をしている。木や石や蛇などに絞ったモチーフと、スケッチ用紙のコラージュした土台、塗り重ねた絵の具を削ってゆく技法が特徴で、中でも、浪岡で出会った一本のりんごの木を描き続ける中で生まれたいくつもの作品からは、木という存在の中に強くある水脈や、破裂の予感を見る者に放ち、不思議な気持ちを引き起こす。

初日の2月9日、ギャラリーの最奥にライブドローイングのコーナー。木戸さんが座布団に座り、製図版のような机でスケッチを描く。作品展示をひととおり観覧したお客さんが、興味津々で覗き込んでつい声をかけてしまう。「みなさん、お話していくんですよ」と、木戸さん。最終日には早い時間に終了したにもかかわらず、一日で91人の来場があった。



日時：平成31年2月9日（土）～11日（月・祝）
10:00～17:00 ※最終日15:00まで
会場：リンクモア平安閣市民ホール1階ギャラリー
入場料：無料
入場者数：151名



平成 30 年度 A-Paradise 事業

冬の A-Paradise ～駅前で版画・漫画でお茶しない？～

目的

版画の街・青森として、版画文化の継承と再発見を促すとともに、冬の街中での居場所作りを目的とする。

効果

コーヒーを飲みながら小さい作品を作る気軽さから、さまざまな立場の市民が体験に参加し、雪の中でのものづくりと向き合う街の中のドロップインとして機能した。

日時：平成 31 年 2 月 9 日（土）～ 11 日（月・祝）

10:00 ～ 17:00 ※最終日 16:00 まで

会場：青森市役所駅前庁舎（アウガ）1 階 駅前スクエア

入場料：無料（フード・ドリンクは有料販売）

動員数：200 名



REPORT

昨秋、柳町商店街とコラボし「A-Paradise2018」を行なったメンバーで、冬向けの企画を考えるところから、このイベントはスタートした。会場が音の出せない市役所内であることを逆手に取り、“冬でもり”“ものづくり”というテーマが生まれ、結果、コーヒーを飲みながら小さい版画を創作できる“版画カフェ”が誕生した。

また、オリジナルの星座を作って、それをねぶたの技法で制作したかまくらに投影して行なう“うそっこ星座のおはなし会”や、市内クリエイターによるガラス面へのライブペインティングなど、会場は盛りだくさん。

フード＆ドリンク販売は市内の cafe oink、5m COFFEE の協力があり、コーヒーの香りに誘われてやってきた通行人が、A-Para スタッフに「ちょっと版画を彫っていきませんか」と呼び止められてフラリと版画を彫りだすシーンも。みなさんが置いていった版木を組み合わせ、4コマ漫画に仕立てて川柳を詠む…など、クラシカルな中にも、新しい創作の楽しい芽がすくすく育った冬の A-Paradise だった。



2019 年度（平成 31・令和元年度） 文化芸術創造活動助成事業

目的

青森の文化的資源の独自性と、文化芸術の持つ創造力を最大限に発揮する先駆的な事業を支え育てる。

効果

八甲田丸の誕生日イベント事業、オペラを市に根付かせるためのコンサート、市の鳥フクロウの彫刻を街に飾る事業への助成で、文化芸術の活性化に寄与した。



公開選考会（6/16 開催）
申請件数：7 件 助成件数：3 件
助成総額：1,000,000 円
選定委員
佐藤広野（あおもりアーツカウンシル会長）
／田中聡子（同委員）／中村昇（同委員）

一般社団法人進め青函連絡船

「おめでとう！55歳！
青函連絡船八甲田丸バースデー・パーティ」

【事業の目的・内容】

1964 年 8 月 12 日に就航した青函連絡船八甲田丸は、今年、2019 年 8 月 12 日 55 歳の誕生日を迎える。バースデー・パーティ形式で集い、「今なお生きている」青函連絡船八甲田丸の存在をアピールする。そして、青函連絡船と交通都市として繁栄した海の街青森市の歴史を若い世代に伝え、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸がミュージアムとして青森市に現存する価値を青森市民や県外からの観光客と共有する。

申請金額／50 万円 助成金額／50 万円



リーダークライス M

「青森のオペラ祭り

【事業の目的・内容】 “オペラ・ガラコンサート”

青森在住・出身、ゆかりのある音楽家によるオペラの醍醐味を楽しむコンサートを開催し、芸術文化の向上、活性化に寄与する。全国各地で演奏活動を繰り返し広げている演奏家によるアンサンブルを味わうことにより、青森に居ながらハイクオリティなオペラを楽しむひとときを市民に提供する。

申請金額／30 万円 助成金額／30 万円



青森大学フクロウプロジェクト

「青森市の鳥 フクロウが街に囀るアートプロジェクト」

【事業の目的・内容】

青森の市の鳥フクロウを素材として、フクロウをチェーンソーアートで表現し、様々なフクロウオブジェを、青森の街角に展示して、フクロウへの「愛」を市民に啓発していく。

申請金額／20 万円 助成金額／20 万円



令和元年度“創造の場づくり”支援事業

青函交流アート事業 展覧会「青い糸」

目的

青函ツインシティ提携 30 周年を記念し、青森・函館両市の文化芸術を通じた交流および浅虫の活性化を図る。

効果

浅虫の海に面する会場にて、函館と青森の美術家によるグループ展示を行なうことで、両市の文化芸術的交流と浅虫地区のにぎわいを創出した。

令和元年 8 月 21 日（水）～ 8 月 25 日（日）

10:00 ～ 17:00 ※最終日 15:00 まで

会場：「海の駅」あさむしマリーナ

入場料：無料

来場者数：1,011 名

参加アーティスト

石川 潤

上野 伊都美

隅田 信城

鎌田 ゆり

木戸 永二

三村 紗瑛子

函 館

青 森



隅田 信城



木戸 永二



石川 潤

リーフレットより

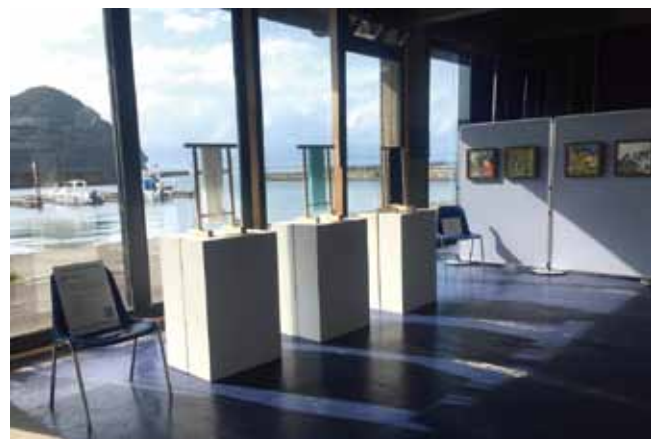
青森市と函館市がともに歩みを進めてから今年で 30 年が経ちました。「青函ツインシティ提携」…、2 つの街は津軽海峡による地理的な「隔て」はありますが、鉄道で、船で、そして、それぞれの市民の心でその関係は大切に繋がれ続けてきました。この 30 年にわたる 2 つの街の友好関係を記念して、「アート」という側面から、5 日間だけ 2 つの街を 1 つに繋がります。2 つの街をこれまでも長きにわたり結びつけてきた「水平線」という「青い糸」で。



三村 紗瑛子



上野 伊都美



鎌田 ゆり

REPORT

青函交流 30 周年を記念するアート展を…ということで、青森 3 名＋函館 3 名のアーティストによるグループ展として、いずれも 2 つの街をつなぐような作品を展示した。ジャンルは油彩、ドローイング、イラスト、陶芸、刺繍、インスタレーションと様々。観覧者もアート愛好家から、海に遊びに来た若い人たちや、夏休み中のご家族、浅虫温泉の旅館のみなさまなど、幅広く観ていただくことができた。

土日は浅虫駅前にて「青函グルメストリート」が開催され、たくさんの人でにぎわったこともあり、歩道橋を通過して、こちらの展覧会「青い糸」にも 5 日間で 1,000 名を超える来場があった。今回、つながった青森と函館を結ぶ「青い糸」を、今後も大事にしていきたい。

令和元年度 A-Paradise 事業

A-Paradise2019

目的

市内のクリエイター・アーティストが中心となり、ベイエリアから商店街を、アート・音楽で活性化させる。

効果

柳町開催が2年目となった今年は、音楽ステージと共に、新たにアート系ワークショップ、特別メニュー提供等の商店街連携を行ない、地域の活性化を更に進めた。

令和元年 9月8日(日) 10:00～19:00

※ステージは 12:00～19:00・WSは 10:00～日没

会場：柳町通り歩道

観覧料：無料

来場者数：730名



【ステージ タイムテーブル】

12:00～12:20：オープニング

12:20～12:45：紫月

12:45～13:15：おもひろ

13:20～13:50：Beaming Chaplin

13:55～14:20：CLANN

14:25～14:55：moments

15:00～15:25：ナカムラシュンスケ

15:30～15:55：クドウ

16:00～16:25：エイイチロウ

16:30～17:00：堀木光太郎

17:05～17:30：スミヨシタケシ

17:35～18:00：吉野田獅子踊

18:05～18:35：The Earth Earth

18:40～19:00：クロージング



【クラフト】

青森サブカル倶楽部



【ワークショップ】

- ①梅うちわ作り
- ②版画喫茶
- ③古道具リメイク市
- ④フェイスペイント
- ⑤偽顔絵



【ライブペインティング】

山谷 悠地



【フード・ドリンク】

Be on space222

ツクリダス

鈴木商店



REPORT

メインステージでは12組のバンドやアコースティックの演奏と、県指定無形文化財である吉野田獅子踊の演舞など、12:00からの7時間、海風の中でおおいに盛り上がった。大盛りかき氷など、充実のフードコーナーとともに、柳町商店街加盟店「KAJITSU」ではA-Paradise開催に合わせて特製ランチを販売。市のサッカーチーム「ラインメール青森」もゲスト出演するなど、イベントに花を添えた。柳町商店街とコラボ2年目の今回、ワークショップスペースとして西側歩道を利用し、ねぶたの技法でつくる梅の花びらワークショップや、ミニ版画を作るコーナー、アーティストによるフェイスペイント、偽顔絵などを行なった。会場には幅広い世代の人たちが集まり、思い思いの楽しみ方をしていた。



令和元年度 A-Paradise 事業

【公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 助成事業】

冬の A-Paradise ～ 青森。雪と君と版画喫茶 @ アウガ～

目的

版画文化の継承と再発見を促すとともに、冬の街中での居場所作りを目的とする。



効果

コーヒーを飲みながら小さい作品を作る気軽さから、さまざまな立場の市民が体験に参加し、雪の中でのづくりと向き合う街の中のドロップインとして機能した。

令和2年2月8日(土)～2月11日(火・祝)

10:00～17:00

会場：青森市役所駅前庁舎（アウガ）1階 駅前スクエア

参加料：無料（フード・ドリンクは有料販売）

来場者数：406名



REPORT

・2/8(土)…参加者のみなさんは9センチ角の小さい版画を思いのままに彫って刷って、素敵な作品を作り出していた。トーク＆ワークショップ「版画家ゆうこさんの版画に重ねた色と想い」では、金子祐子先生のお話を聞き、多色刷り版画の体験を楽しんだ。8・9日出店は cafe oink。

・2/9(日)…午前中は穏やかだったが、昼過ぎからは順番待ちの大盛況。来年の年賀状を作った方も。市内デザイナー4名によるトーク「つくるのヒント～『つくる』ためのかんがえかた～」では、独自の視点の創作話を聞くことができた。青森東高校美術部制作のステージ背景画も好評だった。

・2/10(月)…平日のため、会場のある市役所駅前庁舎には、市民課などに用事で来る方がひっきりなしに訪れた。じっくり版画を彫る方、お茶を楽しむ方、展示だけ観る方もいた。毎日来て、制作している方も。10・11日出店は cafe 0371。

・2/11(火)…トーク講座「ホリホリ♪スリスリ♪よしこ先生のレツツトライ 版画でポン」では、版画家 竹林嘉子先生に版画の作り方を教わった。講演「MUNAKATA とアート これからの AOMORI と版画」では、棟方志功記念館 学芸員の宮野春香さんより、志功の知られざる魅力を聞くことができた。



【オシャベリワークショップ】

①2/8(土) 13:00～16:00 『彫りながら聞きながら』

版画家ゆうこさんの版画にかさねた色と想い

出演：雑貨店を営む版画家ゆうこさん、版画喫茶マスターのケンさん

②2/9(日) 14:00～16:00

つくる●ヒント「つくる」ためのかんがえかた

出演：デザイナー かほ、ちほ、まるこ、しんたろう

③2/11(火・祝) 11:00～12:00

ホリホリ♪スリスリ♪

よしこ先生のレツツトライ 版画でポン

出演：版画家のよしこ先生、アシスタントのエイちゃん、サヨちゃん



④2/11(火・祝) 14:00～16:00

MUNAKATA とアート

これからの AOMORI と版画

出演：棟方志功記念館学芸員のみやのさん
創作家の HA ジメさん



【コラボ企画「版画の街・あおもり」主催
第1回版画年賀状グランプリ応募作品展示】→



あおもり **アーツ** カウンシル とは

地域の文化的資源に新たな光を当て再構築し、さらに質の高い独自の文化・芸術の創造を推進することで魅力あるまちづくりを進めていく事を目的に結集した団体で、文化芸術と社会を結びつける活動を行なっています。

2013年7月に前身団体が発足し、2017年に「あおもりアーツカウンシル」と改名。

“文化芸術都市・青森”の実現に向かって、青森市とともに活動を続けています。

あおもり **アーツ** カウンシル 実行委員紹介 2020.3月現在

会 長	佐藤 広野（青森県立青森東高等学校美術科 教諭）
副会長	高谷 憲（演劇ユニット終身雇用 代表／A-Paradise 部会長）
委 員	奥脇 嵩大（青森県立美術館 学芸員）
委 員	慶野 結香（青森公立大学 国際芸術センター青森 学芸員）
委 員	武田 勇紀（HIRANAI Project REbirth）
委 員	竹浪 比呂央（竹浪比呂央ねぶた研究所 代表／ねぶた師）
委 員	田中 聡子（青森市教育委員会事務局 文化学習活動推進課 参事・課長事務取扱）
委 員	鳥谷部 修（一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社 常務理事）
委 員	沼田 祐寛（株式会社丸石沼田商店 代表取締役社長）
委 員	渡邊 英一郎（シンガーソングライター／A-Paradise 副部会長）
監 事	嶋中 克之（NPO 法人アートコアあおもり 副理事長）

発行 あおもりアーツカウンシル
 青森市堤町一丁目4番1号
 リンクステーションホール青森（青森市文化会館内）
 017-773-7304
<https://aomori-artsCouncil.jp/>
 令和2年3月発行



P 01



P 02



P 03



P 04



P 05



P 06



P 07



P 08



P 09



P 10



P 11



P 12